

コースの内容		
	コンテンツ	到達目標
講義	医療データの概要と背景	医療データを理解する
	疫学・統計学	分析の理論・手法を理解する
	論文の読み方	分析結果を適切に解釈する
	内科診断学	基本的な医学知識を習得する
	病院診療の最前線	各診療科で行われる治療を知る
	京都大学での先端研究	最先端の研究に触れる
実習	分析の基礎 (R, SQL)	データの扱い方を身につける
	院内診療科・部門の見学	医療の現場を肌で感じる
	電子カルテの模擬的操作	医療データの生成過程を体験する
	模擬的な研究の立案	研究をマネジメントする
	国のレセプトデータ (NDB) 分析	実際の医療データを分析する

コースの流れ	
4月	コース開始 講義: 医療データの概要と背景、疫学・統計学
5月	講義: 論文の読み方 実習: 分析の基礎 (R, SQL)
6月	講義: 内科診断学 実習: 病院見学・電子カルテの模擬的操作
7月	講義: 病院診療の最前線 実習: 院内診療科・部門の見学
8月	講義: 京都大学での先端研究 実習: 模擬的な研究の立案
9月	実習: 国のレセプトデータ (NDB) 分析 コース終了

kuepdhi.kuhp.kyoto-u.ac.jp/dotb/



INTENSIVE COURSE

dot.b

医療データ人材育成拠点形成事業ビジネス特化型インテンシブコース



医療データ分析に必要な
知識や技術を学ぶ



INTENSIVE COURSE

dot.b

KUEP-DHI（関西広域 医療データ人材教育拠点形成事業）の一環として、医療データの活用に造詣のある人材を育成することを目的とした民間企業向けのインテンシブコースで、賛助頂いた企業との共同研究という位置付けで実施します。

賛助頂いた企業から参加者を派遣して頂き、事務局が選定する京都大学大学院科目の履修や、所定の講義および実習・演習への参加を通し、医療データ分析に必要な知識や技術を学んで頂きます。



向学心にあふれた皆さんらしい 参加後の手応えや感想を伺いました

VOICE 01

コース終了までの半年間はどうでしたか？

私は医療の知識が乏しかったため、難しいと感じる部分も多く復習の時間は多く要しました。会社が基本的に専任させてくれたことでコースに集中できたことと、先生方に授業や質疑応答で丁寧にご教示いただけたことで、忙殺されることなくしっかり学ぶことができました。

（京セラ株式会社 西出 悠人 2022年度 第3期dot.b参加者）

VOICE 02

受講前後で感じるご自身の変化は？

臨床現場という普段はアクセスできない領域を知ることができたことは、私の視野をさらに広げてくれたと思います。もう一点挙げるとすると、やはりナショナルデータベースを実際に触ったことでしょうか。ナショナルデータベースは日本人の人口の98%以上をカバーしている大きなデータですが、dot.bに参加したおかげで、肌感覚でそのデータに触れるようになったことは、コースへの参加前後での大きな差だと思います。

（ヤンセンファーマ株式会社 岩堀 敏之 2022年度 第3期dot.b参加者）



TEACHER

座学だけでは得られない体験をdot.bで。

KUEP-DHIプロジェクトは、内閣府が作成した「次世代医療基盤法」に基づく教育構想です。日本の医療の発展と健康長寿時代の実現につながる新しい社会のしくみづくりを、医療データを利活用して積極的に主導できる人材の育成を目的としています。

京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授 黒田 知宏



社会健康医学にとっても身近なデータサイエンス。

人の健康と命に関わる問題をどう扱い、どう対策を講じるかを考える領域ですので、おのずと多様で大量のデータを適切に扱う必要が生じます。dot.bでは医療データを正しく扱うことを学びますが、社会健康医学の知識は、dot.bで医療データを扱う方法や基本として大いに役立つでしょう。

京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学 教授 中山 健夫

